

外付けマウスで従業員の生産性と快適性を高める

トラックパッドに対する、外付けマウスの影響の比較

テクノロジーの支援を受けて、現代の労働力は解放されています。「モビリティ」はパスワードのステータスを超えて、今では世界中の仕事のやり方を表すようになっていきます。これによって、機敏なノートパソコンが、在宅勤務、会議室、カフェ、または事実上Wi-Fi接続があるすべての場所で作業をする世界中のワーカーに好まれるデバイスになっています。トラックパッドは利便性と簡素性を約束しますが、多数のワーカーはこの内蔵ナビゲーターを避けて、外付けマウスを好んでいます。これは、単純にお気に入りの色を選ぶのと同様に、取るに足らない個人的な選択の問題なのでしょうか？あるいは、ポイント、クリックおよびドラッグを行うための2種類の方法を隔てる大きな違いがあるのでしょうか？

要旨：

外付けマウスをノートパソコンと共に提供するというシンプルな行為によって、従業員の生産性が高まるだけでなく、ワーカーの快適性、健康および全体的な満足感も高くなります。

- マウスはタッチパッドよりもエルゴノミックです¹
- 人々はマウスを使用すると、トラックパッドと比較して50%生産性が高くなります²
- 人々はマウスを使用すると、トラックパッドと比較して作業速度が30%上がります³



ロジクールMX Anywhere 3ワイヤレス マウス

目次

- 1 ノートパソコンは急速にデスクトップパソコンを置き換えています
- 2 ノートパソコンはモビリティを可能にしますが、それは十分でしょうか？
- 3 外付けマウス：欠けている要素
- 4 Logi Ergoラボによる調査
- 5 外付けマウス/生産性のリンク
- 6 外付けマウスによって筋緊張が軽減
- 7 姿勢への影響
- 8 外付けマウスとROI
- 9 外付けマウスのソフト ベネフィット
- 10 外付けマウスの提供がワーカーにとって意味すること

ノートパソコンは新しい基準です

企業環境でワーカーに提供される標準的な大小の機器の内、パーソナルコンピューターは、コストと実用性の両面で間違いなく最重要です。評価、ソーシングおよび調達
の任務を負うIT部門は、パソコンの購入に必然的に伴う大きな設備投資を正当化するための、非常に大きな圧力を受けます。ROIの最大化は、適切なツールを従業員に提供すると同時に、快適性と幸福感も高めることで、従業員の生産性を高めるパソコン、オペレーティングシステムおよび周辺機器の選択を意味します。



ロジクールM310ワイヤレスマウス

標準的な機器として、ノートパソコンはデスクトップパソコンをしのぎ、その差は今後も広がることが予測されます。2020年より前、IT部門は、ノートパソコンと同じようにデスクトップパソコンを提供していました。しかし2020年以降は、大きな変化があり、デスクトップと比較して、ITがノートパソコンを提供する頻度は**2倍**になっており⁴、この傾向は減少する兆候がありません。パーティションで区切られた文化がホットデスクやハドルームでのコラボレーションに取って代わられるなか、オフィスの制約内においても、ノートパソコンはデスクトップパソコンをしのい

でいます。在宅勤務(WFH)は、ますます定着する傾向にあります。2020年に実施されたロジクール独自調査によると、**米国のワーカーの67%が、週最低2回在宅勤務をする予定であることが分かりました。ドイツと中国では、この数はそれぞれ57%と51%でした。**⁵



ロジクールErgo M575ワイヤレストラックボール

2倍

2020年以降、ITがノートパソコンを提供する割合はデスクトップの**2倍**になっています。⁴

ノートパソコンはモビリティを可能にしますが、これによってワーカーは不当に扱われるのでしょうか？

就業日を開始する場所(自宅やその他の場所)を選択できる利便性に関わらず、ワーカーのモビリティによって、雇用者と従業員両方に対して一連の新しい課題が生じています。多くの場合、ワーカーは、ノートパソコンを使いながらエルゴノミック セットアップを作るのに必要な機器を装備してません。この実際的な影響は重大性をもたらし、モバイルワークは、特にこの環境を初めて体験する人々にとって、問題をより深刻にするだけです。最近のロジクール調査によると、在宅勤務を初めて体験する従業員の50%が、首の痛みや不快感があることが分かりました。以前のオフィスでの作業時は16%でした。31%が、在宅勤務中の肩の痛みや不快感を報告しましたが、オフィス内での作業について同じことを報告したのは、わずか17%でした。

問題の原因は、多くの場合、生産性に悪影響を及ぼす非エルゴノミックの作業空間です。**しかし朗報があります。ノートパソコンと共に外付けマウスを導入することで、非従来型のセットアップにおいて、エルゴノミクスの改善に役立ちます。**



ロジクールMX Anywhere 3ワイヤレス マウス

50%

在宅勤務を初めて体験する従業員の50%が、首に痛みや不快感があります。

31%

が肩の痛みや不快感を報告しました。

外付けマウス：ノートパソコンに欠けている主要要素

不適切なエルゴノミック セットアップによって生じる痛みは、一般的な職場の危険です。外付けマウスがノートパソコンと共に提供された場合、ワーカーは効率的が大きく高まるだけでなく、疲労や不快感につながる場合がある不適切なエルゴノミック セットアップを避けられる可能性もあります。⁶ 外付けマウスと比較して、内蔵トラックパッドの使用には、首と肩の筋肉を余計に動かす必要があります。

これらの結論は、ロジクール独自の資産、Logi Ergoラボが実施した調査によるものです。

Logi Ergoラボによる調査

トラックパッドまたは外付けマウスの使用中に実際に発生することをより深く理解するために、ロジクールはLogi Ergoラボを始めました。物理的空間だけでなく、Logi Ergoラボは、設計、開発、および再発明への人間中心、科学主導のアプローチをとり、職場の快適性を高めることを目指しています。これはロジクール製品開発の中心にあり、エンジニアから設計者、製品設計者およびビジネス グループまで、多様な専門家が関与しています。Ergoラボは、以下を判断する目的で、統合されたトラックパッドの使用を



外付けマウスvsトラックパッドの使用中の、腕の相対位置の評価Logi Ergoラボ

外付けマウス+ノートパソコンと比較する調査を実施しました。

- **パフォーマンス**にはどのような影響があるか？
- 活動する**筋肉**に違いはあるか？
- **姿勢**にはどのような影響があるか？

調査に参加した23人には2種類のノートパソコンが提供され、内蔵トラックパッドを使ってタスクを実行してから、2種類のポータブル マウスを使うよう求められました。タスクは、ポイント&クリックと、ドラッグ&ドロップの操作で構成されました。

外付けマウスによってワーカーの生産性はどのように高まるか

Ergoラボによる調査では、「スループット」(所定の時間内にある場所から別の場所に移動されるデータの量。あるいはこの事例では、いかに素早くかつ精確に参加者がタスクを完了できるか)を測定することで、マウスvsトラックパッドを使って達成できる相対的パフォーマンスについて検討しました。マウスを使用した場合、参加者は、タッチパッドと比較して、生産性が50%上がりました。²

- マウスはタッチパッドよりもエルゴノミックです¹
- 人々はマウスを使用すると、トラックパッドと比較して生産性が50%高くなります²
- 人々はマウスを使用すると、トラックパッドと比較して作業速度が30%上がります³



ロジクールM317ワイヤレス マウス

外付けマウスは筋緊張を軽減させます

調査の参加者に取り付けられたセンサーは、マウスの使用中は、トラックパッドと比較して、首と肩の筋肉活動がより少ないため、よりリラックスしていることを示しました。実際に、マウスの使用と比較して、トラックパッドユーザーは、首と肩の筋肉活動が45%増加しました。さらに、トラックパッドの使用では、前腕の筋肉活動が25%増加しました。これは疲労や不快感につながります。



ロジクールM535ワイヤレス マウス

外付けマウスと姿勢の関係

職場のエルゴノミクスに関する既存の調査⁷によると、トラックパッドでは一般に、ユーザーは前腕が身体の方に曲がった状態で(「屈曲」と呼ばれる位置)、上腕を固定する必要があります。腕を固定すると、上半身を固定する必要があり、これは疲労や不快感につながる場合があります。ロジクールErgoラボは肩の関節角度を詳細に調べ、トラックパッドの使用では、肩を約40度内側に回す必要があることが分かりました。対照的に、マウスを使った参加者は肩の回転と肘の伸びが少なく、良い姿勢を示しました。

調査は、ワーカーは内蔵トラックパッドよりもマウスを使用した時により多くの作業を完了でき、首、肩および前腕の筋肉の活動が少ないと結論付けました。



外付けマウスの姿勢への影響の測定、Logi Ergoラボ

内蔵トラックパッドと比較して、マウスを使った場合に、ワーカーはたくさんの作業を完了できます。

「ノートパソコンの使用は、首、肩および腕の不快感につながる場合のある、不自然で不適切な姿勢に関連します。外付けマウスの使用は、ノートパソコン上の内蔵トラックパッドと比較して、腕の位置に柔軟性がもたらされ、腕の筋肉活動が減ります。比較テストでは、**外付けマウスはトラックパッドより生産的です(速度と精度の組み合わせ)**。外付けマウスは、自宅でもオフィスでも、従業員が日々ノートパソコンを使用する時の快適性とパフォーマンスの改善における最初のステップの1つにする必要があります。」



カリフォルニア大学バークレー校(サンフランシスコ) MD、MPH、兼ロジクール科学諮問委員会メンバー、David Rempel氏。

外付けマウスはいかに設備投資を保護するか

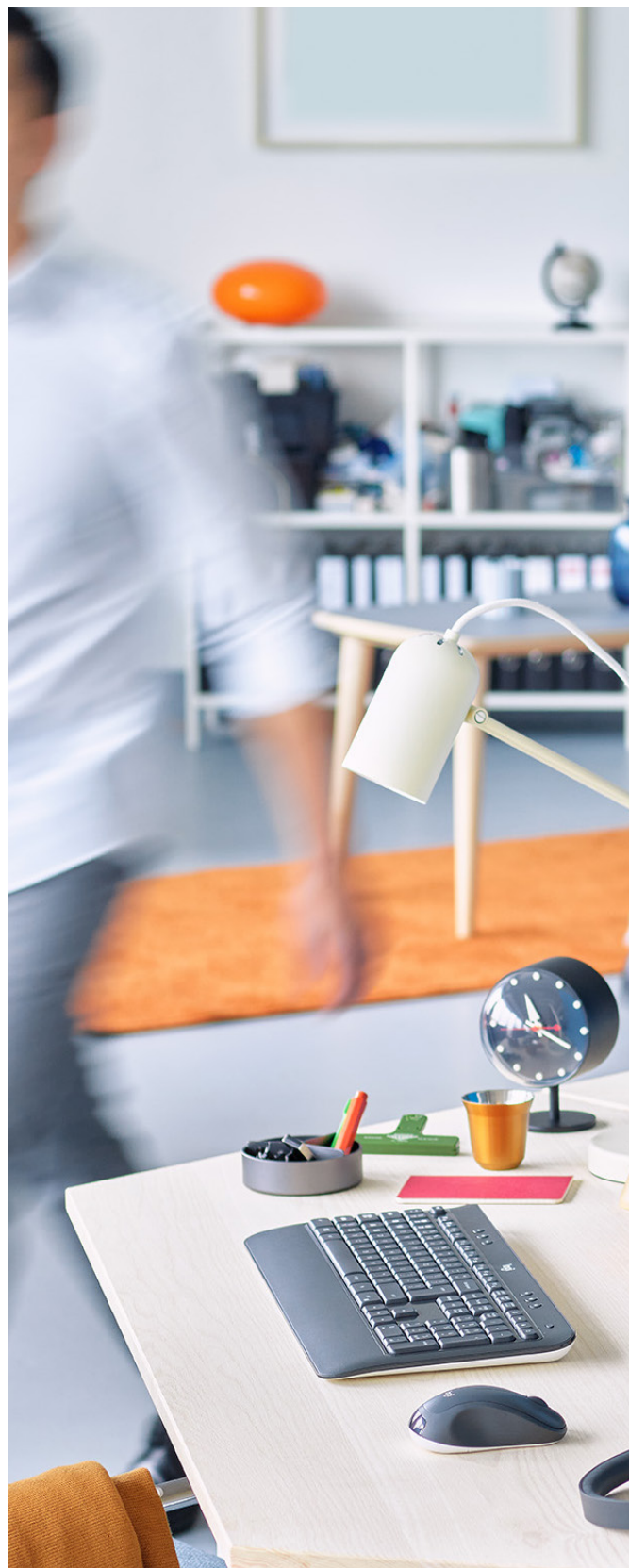
外付けマウスとノートパソコンの提供は、ITが実行できる優れた投資の1つかもしれません。パフォーマンスの強化に加えて、**外付けマウスへの投資によって、一般的な疲労から緊張まで、不適切なパソコンセットアップが引き起こす、従業員の快適性への影響を低くできる可能性があります。**

こうした怪我1件について企業が被るコストは膨大になり、ワーカーの報酬、医療および病院でのリハビリや法的費用が含まれる場合があります。間接費には、高い離職率、常習的欠勤、生産性喪失および低い士気などがあります。

外付けマウスのソフト ベネフィット

不快感を軽減しながら、ワーカーの効率性を改善することに加えて、雇用者がノートパソコンと共に外付けマウスを提供した場合、微妙でありながらパワフルな効果が作業時に生じます。パソコンの使用を必要とする職務の数は増加し続けています – 2023年までには、職務遂行のために、労働力の90%が基本的なコンピューター リテラシーが必要になるという予測もあります。⁸ これによって、不適切な設定のパソコン環境によって課されるリスクは増加する一方です。現在労働力における最大の世代を構成するミレニアル世代のワーカーは、ウェルネスについて、単に病気にならないということを超える包括的な考え方を持っています。彼らは、自分自身のウェルネスへの投資をする可能性が高く、雇用者も同様であることを期待しています。⁹

しかし多くの場合、従業員によって示される非金銭的なニーズと、雇用者が実際に提供するもの間にはずれがあります。GlobalWebIndexによって2020年に実際された調査によると、5人の在宅勤務の内2人以上が、適切な物理的セットアップがないと回答しています。**エンタープライズレベルの企業で働く3人の内2人が、雇用者がより優れたホーム オフィス機器を提供することを望むと回答しました。**¹⁰



ロジクールMK540 Advancedワイヤレス キーボードとマウスのコンボ

適切なツールを提供することが実際にワーカーにとって意味すること

雇用者と従業員は、快適に作業するのに必要なツールを従業員に提供することのビジネス上のメリットについて同意していますが、より多くの企業リーダー（75%）が従業員自身（52%）よりもデスクで作業しているが、従業員の作業/健康状態を優先すると考えています。この認識のギャップの重要な要因は、エルゴノミックな職場ポリシーと手順に関する非効率的なコミュニケーションです。¹¹ 雇用者にとって、これは多くの場合、より深い感情的なレベルで従業員と関わる機会の喪失を表します。雇用者が最後までやり通し、作業をより快適にするツールをワーカーに提供した場合、雇用者は、ワーカーの健康と幸福の尊重を示したことになります。これは入れ替えに忠誠心を生み、仕事の満足度が高くなります。

デスクトップパソコンの代わりにノートパソコンを提供することは、新しいモバイルワーカーの強化に関して言えば、ステップはまだ半分しか終わっていません。日々の快適性を高めながら従業員の生産性を解放しつつ、ノートパソコンセットアップに外付けマウスを含めることが極めて重要なステップです。

自宅で、オフィスで、あるいはその他のあらゆる場所で作業するとしてもノートパソコンのセットアップに外付けマウスを標準で含めることは、ワーカーの生産性と日々の快適性を高めるための簡単な方法です。

ロジクールソリューションは、多様な労働力に対応します

ロジクールは、多様な労働力がより高い快適性を達成するのを支援する製品ポートフォリオによって、あらゆるニーズとワークフローに対応できる、信頼できるソリューションを提供します。当社は、フリーサイズのソリューションはないことを理解しており、様々な形状とサイズのマウスとキーボードを提供します。耐久性と信頼性を提供する当社の製品は、品質テスト済みであり、長年の使用が保証されています。



ロジクールMK540 Advancedワイヤレスキーボードとマウスのコンボ



ロジクールMX Anywhere 3コン
パクトワイヤレスマウス

logicool®

logicool.co.jp/workdesk
にアクセスして、ロジクールの
全種類のマウス(ビジネス
用)をご覧ください

脚注：

- 1 2台のロジクール標準マウスと2台の標準の内蔵トラックパッドを使用した、23人が参加したロジクールエルゴノミックラボ調査(2019年10月)。
- 2 調査で使用した全デバイスに関する、スループット計算(ビット数/秒)と、平均された速度と精度の組み合わせに基づきます。2台のロジクール標準マウスと2台の標準の内蔵トラックパッドを使用した、23人が参加したロジクールエルゴノミックラボ調査(2019年10月)。
- 3 調査で使用した全デバイスの平均動作のビット数/秒に基づきます。2台のロジクール標準マウスと2台の標準の内蔵トラックパッドを使用した、23人が参加したロジクールエルゴノミックラボ調査(2019年10月)。
- 4 ロジクール独自の科学的調査(2020年)。
- 5 2020年7月に実施されたロジクールによる調査は、組織内の804人のITとビジネスの意思決定者、1,000+人の従業員(米国)および500+人の従業員(ドイツおよび中国)が参加。
- 6 ロジクール独自の科学的調査:「ノートパソコンの使用中に、マウスとタッチパッドが姿勢と筋肉活動に与える影響の理解」(2020年)。
- 7 Conteおよびその他。(2014年)。マウスとノートパソコン上のタッチパッドの間の、運動学的違いと筋電図の違い。International Journal of Industrial Ergonomics 44, 413~420。
- 8 Tindula, Rob."Is Your Employer Responsible for Ergonomic Related Injuries?" Thrive Global (2018年11月2日) <https://thriveglobal.com/stories/is-your-employer-responsible-for-ergonomic-relatedinjuries/>
- 9 Welltok, "Millennials:Raising the Bar for Wellbeing" (2019年)。
- 10 GlobalWebIndex study (2020年)。
- 11 ロジクール独自の科学的調査(2019年)。

© 2021 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。Logi, Logi BoltおよびLogicoolロゴはLogitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。